

No. 863

真夏の万国博

—大阪—

長かった梅雨も明け、万国博会場は太陽がいっぱい。
35度以上の暑さが続く会場に、連日観光バスを連ねて、20万人以上の人々が詰め掛けて来ます
各パビリオンは長蛇の列、それであきらめたのか、水辺や木影には涼を求める人々で常に満員
です。でも、せっかくの万国博見物、もう少し精力的に観て歩きたいものです。

ロックと若者

—東京、神奈川—

ジョー。22歳。混血児。ロックの魂に突きささるリズムに全てを賭ける。
フラワー・トラベリンバンドのヴォーカリスト。
ソウル・ミュージックと呼ばれるロックの強烈なリズムにズシンと響く生の息吹きを感じるジョー。過去がどんなに重く背にのしかかろうとそれは問題ではない。
マイクにハーモニカをくっつけるようにして吹きまた歌うジョー。
そこにかもし出される興奮状態に若者は今日の生を感じる。
ロックはキラキラ輝く太陽であり、語るかわりに叫ぶかわりに歌い演奏するものであると語る彼。
彼の生活はロックを中心に動く。そしてロックを素晴らしいという若者達。
これらの若者達を誰れが狂気の世界と云うのだろうか。